

令和3年度

学生募集案内

海技士コース（三級）
海技士コース（四級）
海技士コース（五級）

～出願にあたっての注意事項～

海技免許講習（レーダ観測者、レーダ・自動衝突予防援助装置シミュレータ、救命、消火、航海英語及び機関英語講習）は実施いたしません。必要に応じて、他の講習機関において各自で別途受講してくださいますようお願いいたします。



独立行政法人海技教育機構
海技大学校



<https://www.jmets.ac.jp/kaidai/>

目次

I. 募集	
1. 海技士コース（三級）	1
2. 海技士コース（四級）	2
3. 海技士コース（五級）	3
II. 出願方法	
1. 出願書類等	4
2. 願書提出及び問い合わせ先	4
III. 給付金・助成金について	5
IV. 諸経費等	6
V. 学校施設	7
VI. 学校見学のご案内	7
VII. 入学願書記入例	8
添付書類	
入学願書（三級～五級用）	
予備身体検査証明書	
裏表紙	
海技大学校へのアクセス	

I. 募集

1. 海技士コース（三級）／航海・機関

出願期間 令和3年 9月 1日(水)～令和3年10月26日(火) ※10月26日書類必着
 修業期間 令和3年11月10日(水)～令和4年 3月18日(金) 修業期間 4か月

特典及び特長

- I. 本課程卒業者は海技試験のうちの筆記試験が免除されます。
- II. 卒業後国家試験受験時に、在学期間の1／2が乗船履歴として加算されます。
- III. 受講期間中に海技免許講習（上級航海英語・上級機関英語）を修了することが出来ます。

- (1) 出 願 ①入学資格：海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている方で、四級海技士（航海）若しくは四級海技士（機関）の免許を有し、卒業時において三級海技士（航海）若しくは三級海技士（機関）に関する海技士国家試験の受験資格のある方。
 ②入学検定料33,550円と、本案内末尾に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、その他4ページに記載の必要書類をお送りください。

三級海技士（航海）または三級海技士（機関）に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種別	船 船	期 間	資 格	職 務
三級海技士（航海）	・1600ト以上 沿海区域 ・20ト以上 近海・遠洋区域 ・20ト以上 乙・甲区域の漁船	3年以上 ・特典及び特長II. 適用		船舶の運航
	・500ト以上 沿海区域 ・20ト以上 近海・遠洋区域 ・20ト以上 乙・甲区域の漁船	2年以上 ・特典及び特長II. 適用	四級海技士（航海）	航海士 （一等航海士を除く）
	・200ト以上 沿海区域 ・20ト以上 近海・遠洋区域 ・200ト以上 丙区域の漁船 ・20ト以上 乙・甲区域の漁船	1年以上	四級海技士（航海）	船長又は一等航海士
	近代化船	6月以上 ・特典及び特長II. 適用	船橋当直三級海技士（航海）	運航士
三級海技士（機関）	・3000Kw以上 沿海区域 ・20ト以上 近海・遠洋区域 ・20ト以上 乙・甲区域の漁船	3年以上 ・特典及び特長II. 適用		機関の運転
	・1500Kw以上 沿海区域 ・20ト以上 近海・遠洋区域 ・20ト以上 乙・甲区域の漁船	2年以上 ・特典及び特長II. 適用	四級海技士（機関）	機関士 （一等機関士を除く）
	・750Kw以上 沿海区域 ・20ト以上 近海・遠洋区域 ・750Kw以上 丙区域の漁船 ・20ト以上 乙・甲区域の漁船	1年以上	四級海技士（機関）	機関長又は一等機関士
	近代化船	6月以上 ・特典及び特長II. 適用	機関当直三級海技士（機関）	運航士

(注) 国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のもので、ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。
 また、試験開始期日の前5年以内のものが含まれていなければなりません。乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。

- (2) 入学試験 試験日 令和3年11月9日(火)
 ○身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。
 ○筆記試験 専門学…船舶の運航（又は機関の運転）実務に関する試験
 航海：航海、航海計器、運用、気象、航海法規
 機関：内燃機関、ボイラ、プロペラ装置、補機、電気工学
 ○筆記試験の免除・・・下記に該当する場合は、願い出により筆記試験が免除されます。
 [本校通信教育普通科A課程を卒業した方、海員学校の本科を昭和63年以降に卒業した方
 高等学校を卒業した方若しくはこれと同等以上の学力があると認められた方]
- (3) 入 学 ①合格発表 令和3年11月9日(火) ②入 学 日 令和3年11月10日(水)
 (4) 修業期間 4か月
 (5) 卒 業 日 令和4年3月18日(金)

2. 海技士コース（四級）／航海・機関

出願期間 令和3年 2月 1日(月)～令和3年 3月17日(水) ※3月17日書類必着
 修業期間 令和3年 4月 7日(水)～令和3年 6月18日(金) 2.5か月

特典及び特長

- I. 本課程卒業者は国家試験のうちの筆記試験が免除されます。
 II. 卒業後国家試験受験時に、在学期間の1/2が乗船履歴として加算されます。

- (1) 出 願 ①入学資格：海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている方で、卒業時において四級海技士（航海）若しくは四級海技士（機関）に関する海技士国家試験の受験資格のある方。
 ②入学検定料33,550円と、本案内末尾に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、その他4ページに記載の必要書類をお送りください。

四級海技士（航海）または四級海技士（機関）に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種別	船 船	期 間	資 格	職 務
四級海技士 （航海）	・200ト以上 平水区域	3年以上	五級海技士（航海）	船舶の運航（甲板員等）
	・20ト以上 沿海区域以上	・特典及び特長Ⅱ、適用		
	・20ト以上 漁船	1年以上		
四級海技士 （機関）	・750Kw以上 平水区域	3年以上	五級海技士（機関）	機関の運転（機関員等）
	・20ト以上 沿海区域以上	・特典及び特長Ⅱ、適用		
	・20ト以上 漁船	1年以上		
		・特典及び特長Ⅱ、適用		

(注) 国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のものです。ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。

また、試験開始期日の前5年以内のものが含まれていなければなりません。乗船期間その他は、船員手帳等よく確認してください。

- (2) 入学試験 試験日 令和3年4月6日(火)
 ○身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。
 ○筆記試験 専門学…五級海技士相当の試験
 航海：航海、運用、法規
 機関：機関(一)、機関(二)、機関(三)、執務一般
 ○筆記試験の免除 五級海技免許受有者は筆記試験が免除されます。
- (3) 入 学 ①合格発表 令和3年4月6日(火)
 ②入 学 日 令和3年4月7日(水)
- (4) 修業期間 2.5か月
- (5) 卒 業 日 令和3年6月18日(金)

3. 海技士コース（五級）／航海・機関

出願期間 令和3年 2月 1日(月)～令和3年 3月17日(水) ※3月17日書類必着
修業期間 令和3年 4月 7日(水)～令和3年 6月18日(金) 2.5か月

特典及び特長

- I. 本課程卒業者は国家試験のうちの筆記試験が免除されます。
- II. 卒業後国家試験受験時に、在学期間の1/2が乗船履歴として加算されます。

- (1) 出 願 ①入学資格：海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている方で、卒業時において五級海技士（航海）若しくは五級海技士（機関）に関する海技士国家試験の受験資格のある方。
②入学検定料33,550円と、本案内末尾に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、その他4ページに記載の必要書類をお送りください。

五級海技士（航海）または五級海技士（機関）に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種類別	船 舶	期 間	資 格	職 務
五級海技士 （航海）	10トリ以上	3年以上 ・特典及び特長II. 適用		船舶の運航（甲板員等）
	20トリ以上	1年以上 ・特典及び特長II. 適用	六級海技士（航海）	船長または航海士
五級海技士 （機関）	10トリ以上	3年以上 ・特典及び特長II. 適用		機関の運転（機関員等）
	20トリ以上	1年以上 ・特典及び特長II. 適用	六級海技士（機関）	機関長または機関士

- (注) 国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のものであります。ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。
また、試験開始期日の前5年以内のものが含まれていなければなりません。乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。

- (2) 入学試験 試験日 令和3年4月6日(火)
○身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。
○筆記試験 船員の仕事に関する基本的な知識の確認
○筆記試験の免除 高等学校を卒業した方は、筆記試験を免除することが出来ます。
- (3) 入 学 ①合格発表 令和3年4月6日(火)
②入 学 日 令和3年4月7日(水)
- (4) 修業期間 2.5か月
- (5) 卒 業 日 令和3年6月18日(金)

- Ⅱ. 出願方法
- Ⅲ. 給付金・助成金について
- Ⅳ. 授業料等の諸経費及び
給付金・助成金
- Ⅴ. 学校施設
- Ⅵ. 学校見学のご案内
- Ⅶ. 入学願書記入例

添付書類

- ・入学願書(三級～五級用)
- ・予備身体検査証明書

Ⅱ. 出願方法

1. 出願書類等

提出書類		チェック	1. 三級	2. 四級	3. 五級
①	入学願書		○	○	○
②	指定医師により証明された予備身体検査証明書 (縦3.0cm×横2.4cmの写真を貼付)		○	○	○
③	写真 ※裏面に志望コース、氏名を明記してください。 申請前1年以内に撮影されたもので無帽、正面、 上半身、無背景、縦3.0cm×横2.4cmのもの		○ ②の写真 以外に2枚 (注4)	○ ②の写真 以外に2枚 (注4)	○ ②の写真 以外に2枚 (注4)
④	海技免許を受有している方は免状のコピー		○	○	○
⑤	・受験の乗船履歴が確認できる船員手帳のコピー ・船員手帳の氏名、本籍、生年月日の記載のページ のコピー。 (雇入契約関係及び休日・有給休暇関係のページ) 一括公認等による乗船履歴証明書等の場合は、必ず 正本を用意しておいてください。		○	○	○
⑥	筆記試験の免除を願い出る方は、各課程の募集ページに記載されている卒業証書のコピーまたは卒業証明書。		○	×	○
⑦	入学検定料		○	○	○

- (注) 1. 「①入学願書」は、記入例を参照してください。
2. 「①入学願書」、「②予備身体検査証明書」は、本案内末尾に添付されている所定の用紙を使用してください。乗船履歴が受験資格を満たしているか不明な場合は、あらかじめ郵便又はFAXにてお問い合わせください。
3. 「⑦入学検定料」は、現金書留により上記の出願書類等一式を同封して納入してください。既納の検定料は、どのような理由があっても返還できません。出願書類の不備なもの、入学検定料を添えていないものは受け付けられません。
4. 写真2枚のうち1枚については、入学試験に必要です。筆記試験免除者は、写真1枚を提出してください。

2. 願書提出先及び問い合わせ先

〒659-0026 兵庫県芦屋市西藏町12番24号
海技大学校 学務部 教務課 海技士コースあて
TEL (0797) 38-6211/FAX (0797) 32-5955
e-mail contact-kyoumu-kaidai@jmets.ac.jp

Ⅲ. 給付金・助成金について

給付金・助成金は願書提出前に、各所へ各自申請いただく必要があります。受給は、本人が入学料・授業料を負担した場合のみとなります。(通信コースについては、対象外となります。)

- ①教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座(厚生労働省) 問合せ先：最寄りのハローワーク
上記講座として指定を受けているコース：三級、四級、四級(五級海技士免許受有者)、五級

受給資格	次の(1)又は(2)のいずれかに該当する方 (1)雇用保険の被保険者期間(船員保険期間を含む。以下同じ。)が3年以上ある方。 (2)雇用保険の被保険者であった方で、被保険者資格を喪失した日以降1年以内であり、かつ被保険者期間が3年以上ある方。 ※(1)又は(2)とも当分の間、初めて教育訓練給付金の支給を受けようとする方については、被保険者期間が1年以上あれば可。
給付額	教育訓練経費の20%に相当する額。限度額10万円。
請求手続(本人)	本人の住所を管轄するハローワークへ申請 ①教育訓練給付金支給申請書 ②教育訓練修了証明書 ③各費用の領収書(入学料・授業料・教科書代等…(最大1年分)) ④雇用保険被保険者証等 (受講修了1月以内に支給申請)

- ②海技資格取得研修補助(全日本海員組合) 問合せ先：(一財)全日本海員福祉センターTEL03-3475-5390

受給資格	全日本海員組合の組合員
給付額	受講料(入学料・教材費を含む。)の全額相当額が支給されます。ただし、同一の海技士資格について2回目以上の受講である場合は、受講料の半額相当額の給付となります。
請求手続(本人)	①(一財)全日本海員福祉センターへ受講前に事前申し込みとして「海技資格・技能講習受講申請書」を提出します。(申請書用紙は(一財)全日本海員福祉センターまたは全日本海員組合各支部にあります。) ②(一財)全日本海員福祉センターにて審査後、「海技資格取得研修受講決定通知」と「研修補助・交通費補助申請書」が送付されます。 受講者は受講決定通知受領後、海技大学校へ受講申し込みを行い、受講してください。 ③受講後、「研修補助・交通費補助申請書」を(一財)全日本海員福祉センターへ提出。提出の際、研修修了証と領収書を添付してください。

(令和元年11月現在)

- ③教育訓練給付補完給付(全日本海員組合) 問合せ先：(一財)全日本海員福祉センターTEL03-3475-5390

受給資格	2つの要件を満たしていること。 (1)全日本海員組合員の組合員(申請時において前回の受給から3年以上が経過していること) (2)教育訓練給付金を受給済の方。
給付額	受講料(入学料・教材費を含む。)の3割相当額(限度額15万円)が支給されます。
請求手続(本人)	教育訓練給付金を受領後、所定の補助申請書に教育訓練給付金の支給証明書等を添付して(一財)全日本海員福祉センターへ申請。(補助申請書は(一財)全日本海員福祉センターまたは全日本海員組合各支部にあります。)

(令和元年11月現在)

※①教育訓練給付金(厚生労働省)と、②海技資格取得研修補助(全日本海員組合)とは重複して受給することはできません。また、②海技資格取得研修補助(全日本海員組合)と③教育訓練給付補完給付(全日本海員組合)とは、重複して受給することはできません。

☆入学時に船員失業保険受給中であらかじめ海技大学校への受講指示を受けて来られた方は、失業保険金の他に移転費、技能習得手当等が支給されます。

IV. 授業料等の諸経費及び給付金・助成金

海技士コース受講に必要な諸経費は、概算で下記のとおりです。(単位：円)

コース	海技士コース（三級）		海技士コース（四級）		海技士コース（五級）	
	航海	機関	航海	機関	航海	機関
入学料	101,930	101,930	101,930	101,930	91,710	91,710
授業料	133,500	133,500	66,760	66,760	61,630	61,630
教科書代	58,000	38,000	39,000	32,000	39,000	32,000
学生費	5,000	5,000	4,500	4,500	4,500	4,500
寮費	103,000	103,000	55,000	55,000	55,000	55,000
合計	401,430	381,430	267,190	260,190	251,840	244,840

※寮費の内訳は、寄宿料・寮経費等です。(食費を除く)

※入寮者は学生食堂で食事を提供します(土日祝日にはありません)。食費が別途必要となります。

【参考】1ヶ月31,460円(月20日で計算・税込)

三級-157,300円(5ヶ月) 四級・五級-78,650円(2.5ヶ月)

※願書出願時には、別途「入学検定料」が必要です。

※授業料等については、入学後に振込依頼書を発行いたします。納期は、概ね3～4週間程度です。

コース	海技士コース（三級）		海技士コース（四級）		海技士コース（五級）	
	航海	機関	航海	機関	航海	機関
①教育訓練給付金	80,000	76,000	53,000	52,000	50,000	48,000
②海技資格取得研修補助	293,000	273,000	207,000	200,000	192,000	185,000
	+往復交通費	+往復交通費	+往復交通費	+往復交通費	+往復交通費	+往復交通費
③教育訓練給付補完給付	87,000	81,000	62,000	60,000	57,000	55,000
	+往復交通費	+往復交通費	+往復交通費	+往復交通費	+往復交通費	+往復交通費

(授業料等については、改定される可能性があります。)

〔参考〕給付金・助成金の例(概算)

注意)上記助成金額は、参考金額です。制度変更があった場合等、助成金額が変更されることがあります。

※入学時に船員失業保険受給中で、地方運輸局等から「受講指示書」を受けた方は、失業保険金の他に、技能習得手当等が支給されます。

※「①教育訓練給付金」につきましては、2割相当の金額で計算しています。

※「①教育訓練給付金」・「③教育訓練給付補完給付」と「②海技資格取得研修補助」とは重複して受給することはできません。

※各制度の詳しい内容につきましては、①は最寄りのハローワーク、②・③は(一財)全日本海員福祉センター(Tel03-3475-5390)にお問い合わせください。

V. 学校施設

学校のある芦屋は、神戸と大阪の中間に位置します。北に六甲山、南に大阪湾を望む閑静な地で、勉学には最適な場所です。

校内には各種教育訓練設備があり、長期のコースではシミュレータ訓練・練習船海技丸での乗船訓練等の授業・実習により理解力がアップし、国家試験対策プラスαで海技を習得することができます。

VI. 学校見学のご案内

教室・図書室・実習施設等、当日可能な限りご見学いただけます。

見学日 月～金曜日
見学時間 1時間半前後

見学日時や内容等をあらかじめ（見学希望日の2週間以上前に）ご連絡ください。
上記以外の日に見学をご希望の場合は、ご相談ください。

海技大学校 学務部 教務課

〒659-0026 兵庫県芦屋市西蔵町12番24号
TEL (0797) 38-6211
FAX (0797) 32-5955
e-mail contact-kyoumu-kaidai@jmets.ac.jp

学校への交通アクセスは、本案内の裏面をご参照ください。

Ⅶ.入学願書記入例

四級入学試験で五級海技免許受有者は、筆記試験の免除を願うことができます。五級海技免許のコピーを添付してください。

三級・五級入学試験で高等学校卒業者は、筆記試験の免除を願うことができます。卒業証明書又は卒業証書のコピーを添付してください。

海技大学校 入学願書 (三級～五級用)

		受験番号
希望するコースを○で囲む	志望コース ① 海技士コース(三級航海) 2. 海技士コース(四級航海) 3. 海技士コース(五級航海) 4. 海技士コース(三級機関) 5. 海技士コース(四級機関) 6. 海技士コース(五級機関)	← 記入しない 三級～五級各コースにおいて 入学試験筆記試験免除の願ひ出 する・しない
住民票どおり記入ふりがなと押印を忘れずに	ふりがな かいだい たろう	本籍地 兵庫 都・道府(県)
住民票どおり記入ふりがなと郵便番号を忘れずに	氏名 海大 太郎 印	性別 男・女 昭和 平成
願書を提出いただいた後、教務課より送付します	ふりがな ○○けん○○し○○ちよう○○-○○ 〒○○○-○○○ ○○県○○市○○町○○-○○ 電話 (○○○) ○○○ - ○○○○ e-mail: k21aidai@jmets.ac.jp	生年月日 ○○年 2月 1日 (満43才) 入寮希望の有無 入寮する・通学する
志望コースで囲んだコースを記入する	受験票送付先 〒 - 現住所に同じ 貴大学校 海技士コース(三級航海)へ入学を希望します。 ○○年 ○月 ○日 独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 殿	入寮の有無を記入 連絡先の電話番号・メールアドレスを記入

		学校名	卒業(中退)年月日
	最終学歴	普通教育 ○○市立 ○○中学校	昭和 平成 令和 2年 3月 日 卒業 中退
		船員教育 ○○○○学校	昭和 平成 令和 5年 3月 日 卒業 中退
現職(雇用) 離職(失業) どちらかを○で囲む		海技大学校船員通信教育	課程及び学籍番号 卒業(中退)年月日 昭和 平成 令和 年 月 日 卒業 見込
		現職・離職(受講時の状態を○で囲んでください)	
履歴書	現職者記入欄	会社名 ○○海運株式会社	職名 一等航海士
	離職者記入欄	(直前の)会社名	電話 () -
所有している免状をすべて記入		免状等種類	取得年月日
		海技免状① 五級海技士(機関)	昭和 平成 令和 ○○年 ○月 ○日 第5501234567891号
		海技免状② 四級海技士(航海)	昭和 平成 令和 ○○年 ○月 ○日 第4501234567891号
		小型船舶操縦免許証 一級小型船舶操縦士	昭和 平成 令和 ○○年 ○月 ○日 第8101234567891号
		無線従事者免許 第二級海上特殊無線技士	昭和 平成 令和 ○○年 ○月 ○日 第 ABCD00123号

乗船履歴を必ず裏面に記入すること

授業料等経費の支払についてどちらかに必ず○

経費: 会社払 個人払

※どちらかに必ず○をしてください。経費が会社負担の場合のみ、以下に記入してください。

※失業保険受給者の場合のみ、記入して下さい。

授業料等の納入	会社払で振込のみ
担当部署及び担当者名	海務部海務課 鈴木
振込先等連絡先	〒 - 上記会社住所と同じ 電話 (○○○)○○○-○○○○ e-mail: 請求書及び領収書の宛名 個人払の場合:海技 太郎 会社払の場合:○○海運株式会社 御中

※本書類に記載された内容については、教育指導及び授業料等の納入並びにそれに付随する目的及び課程のお知らせ等の連絡に使用するものです。

入学後に海技大学校経理課より会社宛の請求書を送付いたします。

乗船履歴については、船員手帳その他を入念に調べて記入してください。
もし、乗船履歴の不足が判明したときは、入学が取り消されます。

乗船履歴 (船員手帳の有無 有・ 無)

※最近の履歴を一番上に書き、日付順に過去14年以内の履歴を記入してください。乗船中の場合、下船又は終業の年月日は記入日現在で結構です。
※乗船履歴には、5年前以内のものが含まれていなければなりません。
※船員手帳等で確認し、記入してください。入学の際は、必ず雇い止めを行って来ること。

船舶の用途 船舶の名称	総トン数	機関の種類 及び出力	航行区域 従業制限	船主氏名 又は名称	職名	乗船又は就業の 年月日	下船又は終業の 年月日	乗船又は就業の 期間
油送船 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 Kw	近海	海大運輸(株)	船長	2020年 3月 25日	2020年 10月 20日	年 6月 26日
〃 芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 Kw	沿岸	海大運輸(株)	一等 航海士	2019年 10月 4日	2020年 2月 23日	年 4月 20日
〃 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 Kw	近海	海大運輸(株)	一等 航海士	2019年 7月 13日	2019年 9月 7日	年 1月 26日
〃 芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 Kw	沿岸	海大運輸(株)	一等 航海士	2018年 8月 20日	2019年 6月 15日	年 9月 27日
〃 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 Kw	近海	海大運輸(株)	一等 航海士	2017年 11月 13日	2018年 7月 27日	年 8月 15日
〃 芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 Kw	沿岸	海大運輸(株)	一等 航海士	2016年 8月 26日	2017年 11月 5日	1年 2月 11日
〃 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 Kw	近海	海大運輸(株)	二等 航海士	2015年 11月 6日	2016年 8月 19日	年 9月 14日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
合 計								4年 7月 19日

船員手帳の有無を記入

航海に入学希望の方は、航海士、甲板員等の履歴を記入

機関に入学希望の方は、機関士、機関員等の履歴を記入のこと

船舶の用途・名称を記入

30日を1月として計算

アクセス

●JR

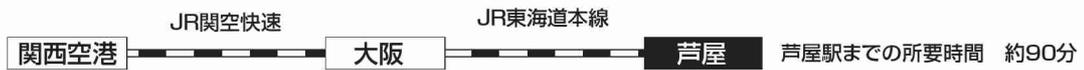


●私鉄(阪神・阪急電鉄)

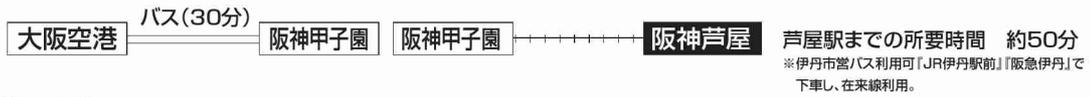


●空港

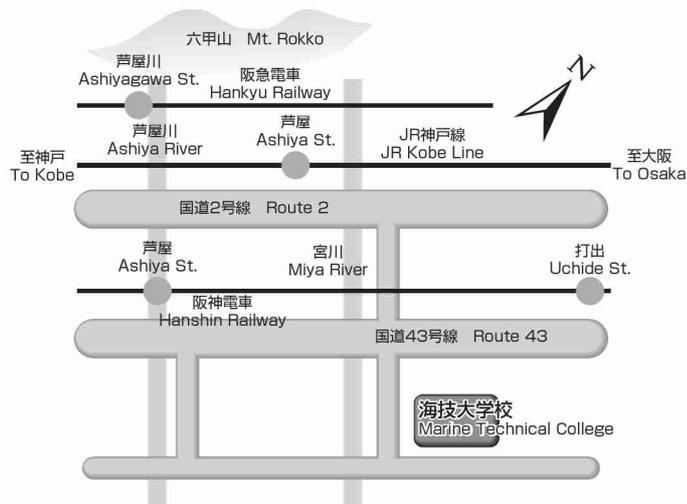
・関西空港



・大阪(伊丹)空港



・神戸空港



独立行政法人海技教育機構 海技大学校

〒659-0026 兵庫県芦屋市西蔵町12番24号

TEL:0797-38-6211 FAX:0797-32-5955

HP:<https://www.jmets.ac.jp/kaidai/>